

農大と 図書館・博物館・動植物園を結ぶネットワーク

学術情報課程通信



平成28年

学芸員・司書関連新規就職先一覧

平成29年2月現在

学 科	就職先
大学院農学科前期課程	トマトパーク
農学科	栃木県立日光自然博物館(嘱託)
畜産学科	株式会社どうぶつむら
バイオセラピー学科	足立区生物園
バイオセラピー学科	我孫子市鳥の博物館
バイオセラピー学科	特定非営利活動法人 NPO birth
バイオセラピー学科	横浜ズーラシア(嘱託)
森林総合科学科	株式会社シーアイシー(博物館環境調査関係業務)
司書	生物応用化学科 セザックス株式会社

学 科	就職先
農学科23年卒	白馬五竜高山植物園
畜産学科25年卒	藤枝市郷土博物館
バイオセラピー学科22年卒	公益財団法人神奈川県公園協会
バイオセラピー学科25年卒	中央区立環境情報センター
森林総合科学科24年卒	台東区環境ふれあい館ひまわり
森林総合科学科27年卒	宮内庁庭園管理課
国際農業 開発学科25年卒	公益財団法人日本動物園水族館協会
アクアバイオ学科27年卒	のぼりべつクマ牧場
科目等履修生27年卒	箱根町立湿生花園
科目等履修生27年卒	株)中村征夫オフィス Photo gallery BLUEHOLE
司書	醸造学科昭和60年卒 荏原エージェンシー事業支援グループ(ライブラリー)

OB名簿新規登録者	
司書	農学科60年卒 秋田県立図書館

※卒業後、関連施設に就職された方は、ご一報下さい。

農事遺産 ③

農大古農具コレクション



田畑を耕す鍬は、最も古い農具の一つとされていますが、我が国では弥生時代になってみられるようになりましした。現代の鍬とは基本的な形はほとんど変わっていないとされています。写真の鍬は「万能(まんのう)」と呼ばれ、刃が三本や四本に分かれていることから、地域によつては三本鍬や四本鍬とも呼ばれるようです。また刃先が尖っているため、稲株起こしや水田の畦畔作りにも使われることから、鍬のなかでは万能(まんのう)な鍬という意味で、そう呼ばれてきたとも言われます。

また湿田の秋打ち作業のときに泥土が手前に跳ね、柄と使い手にかかり、作業効率を損なわないようにと、竹で編んだ板状の泥除けや藁で編んだもの(拡大写真)を柄に装着し泥はねを防ぎます。実際は柄の根本の部分にこの泥除けを付けて使います。万能と泥除けに触れていると、農作業での色々な工夫を編み出した、祖先の農具を扱うセンスの一端が伝わってきます。(Y)



資料名: 万能 No.1341
寄贈者: 熊谷真平氏
岩手県西磐井郡花泉町
収 集: 1971年8月25日
形 状: 長さ140cm

農

司書として、図書を選ぶ眼力を養う

東京農業大学図書館 館長 北田 紀久雄

今日、ICT技術の革新によりネットワークの活用が広く社会に普及することで、電子媒体での情報収集や利用が進み、紙媒体での書籍や雑誌等の利用率が低下しつつあります。しかし、知の拠点を標榜する大学では、図書館の果たす役割は現在でも重要であることはいまでもありません。

農大の図書館も実際に電子化が進展し、学術雑誌も電子ジャーナルとして購読する割合が増大しています。また、図書館の業務も最新のコンピュータに支えられていますが、さらに利用者が貸出を希望した自動書庫所蔵資料を、所蔵庫から貸出カウンターに運ぶ作業も機械化されており、図書館は最新技術の宝庫といっても過言ではありません。

とはいえ、東京農業大学の図書館は、世田谷キャンパスだけでも三〇人前後の司書の資格を有する図書館員が日々の業務を担い、大学図書館利用者である学生諸君や教職員へのサービスを提供しています。いかに利用者に使いやすい、図書や情報を検索しやすい図書館にすべきか、日々新たなディスプレイの工夫やイベントを企画することに余念がありません。

図書館の大事な業務に選書とい

う仕事があります。日本国内だけでも毎年八万点を超える書籍が発行される中で、予算の範囲内で必要な書籍を購入する必要があります。本学でも教育研究を支えるためどのような図書を購入すべきなのか、運営委員の先生方の協力も得ながら選書を進めています。同時に図書館員も司書として選書の能力の向上が求められています。

図書館ではそうした選書の一環として年二回の学生による選書会を行い、予想以上の成果を確認しています。また、本年度から読書ラリーを始めました。これは、期間中に本学図書館所蔵の本を借り、その感想文を一五〇字以上で書いて提出すると、スタンプ一個が押され、それを五個、一〇個貯めると賞品が貰え、さらに優秀なものには表彰するというものです。書評も実は選書の有益な手段でもあるのです。

膨大な図書の中から、利用者に有益な図書を選定・紹介することは司書としても重要な仕事です。選書能力を高め、図書を選ぶ眼力を養うため、こうした図書館のイベントに学術情報課程を履修されている皆さんには是非とも積極的に参加して欲しいと思います。

学 部	学芸員	司書
農 学 部	68	19
応用生物科学部	22	11
地域環境科学部	13	6
国際食料情報学部	11	5
生物産業学部	27	—
合 計	141	41

東京農業大学
資格取得者数

東京農業大学
短期大学部
資格取得者数

学 科	司書
生物生産技術学科	0
環境緑地学科	3
醸 造 学 科	0
栄 養 学 科	0
合 計	3

平成27年度 資格取得 状況

学術情報課程通信 第5号
GAKUJUTSU JOHOKATEI TSUSHIN

東京農業大学
学術情報課程 発行

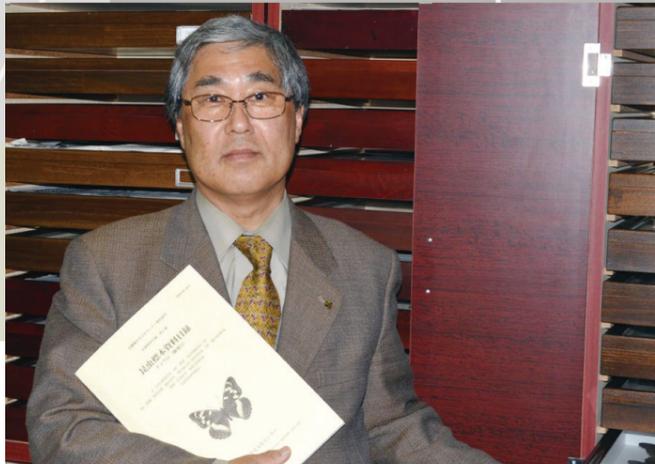
〒156-8502
東京都世田谷区桜丘1-1-1
電話 03-5477-2530
レイアウト・印刷/共立印刷株式会社
平成29年(2017)年2月28日 発行

www.nodai.ac.jp/info

編集後記

毎年、収穫祭の期間中、学術情報課程のOB・OG会を11号館情報検索室で開催しています。秘伝の美味しいおでんとお酒を、3日間切らすことはいたしません。研究室へ足を運ぶ前後に、情報交換を兼ねて、是非、遊びにいらしてください。(R)

「千年の未来に責任を持つ」



柳谷卓彦 Takuhiko YANAGIYA

1960年北海道生まれ
1984年東京農業大学農学部林学科卒業
1984年北網園北見文化センターの開館に合わせて就職、現在に至る

学生時代からのような仕事を経験なさったのですか
学生時代は造園、清掃のアルバイトをしながら過ごしました。世田谷のある有名人の自宅に白樺が植えてあり、北海道では当たり前のものが東京では憧れや、ステータスシンボルにもなっていた。ここから、私にとっては普通で粗末に扱っていたものが、所変われば貴重なものであることに気づかされ、博物館の仕事に生かしました。

卒業後は市の臨時・嘱託職員などを経験し、市の採用試験に合格後、学芸員になってからはプラネタリウム、科学、美術、博物の各分野、専門の自然史では植物・昆虫を中心に生物全般、日々の業務では博物館業務全般を経験させて頂きました。

最近たずさわっていることを教えてください
終わらない市民からの寄贈・収集資料の調査研究、資料整理とその活用を繰り返しています。何十年もかけて、資料整理をおこなない資料情報のデジタル化と四冊の資料目録を作成しました。恩師からデジタル化は無謀である」と注意を受けましたが、若さでしようか、博物館の土台である基礎工事をいまやらなくては後進たちが苦労するという一心で始め、今も資料整理を中心とした仕事を続けています。

最後にメッセージなどをいただけますか
少年時代から蝶の蒐集家として学芸員を目指しましたが、収集された知的財産が市民のもとへ届くよう使命感と、資格取得者の重みを感じながら学芸の職務にあたっています。毎年、学芸員として就職できるのは、資格取得学生の〇・六一%でしかなく、チャンスがなければなれる職業ではありません。博物館人として畑を耕すように、皆さんが学芸員になれる社会の土を作りたい。博物館は市民の語る会話の中に、夢やロマン、笑顔が溢れる身近な文化サロンだと思っています。博物館が市民の身近な教育機関になるよう、博物館人の一人として博物館と学芸員、そして博物館を支える多くの人々を応援し続けたいと思います。

この職業を選んでよかったと思うことや、やりがい
仕事（収集）をすればするほど地域の学術的な資料と情報が積みあがり、その成果を展示や講座、あるいはレファレンスを通して市民の皆様へ提供できた時、直接「おかげで助かりました、ありがとうございます」と感謝の言葉をいただけることです。
また、ロスチャイルドのような財閥から一般の市民が私財を投げ打って収集したコレクションまでを、保管する蔵の番人として、最低でも百年以上数千年の未来に責任を持って文化財（知的財産）を引き継ぐため、生涯を通して一人でも多くの博物館人を育てることにやりがいを感じています。

仕事で苦労していることはありませんか
専門的な学芸の業務が理解されないことが多いことです。予算の優先順位は市民の生命財産に係わる緊急的なものから順番が付けられます。逆に言えば緊急度をどれだけアピールできるかということになりがちで、博物館が法令上やるべき基本的な業務遂行に係る予算は据え置かれてしまっています。
博物館は市民に対し知的財産活用機会を提供するという使命がありますが、実際は資料情報をいつでも、誰にでも活用できるように整備するという学芸員の本質的な業務が問われる場面でも、市民に言い訳が多いことが最大の苦労かもしれません。

一番記憶に残っているエピソードは
館の名前の浸透を図るため、休館日に地元ラジオ番組にボランティアで四年間レギュラー出演し、身近なおホークの魅力が発信したことや、日本を代表する歌人、斎藤茂吉翁の常設展示を企画したことです。
また、収蔵庫に保管されていた大麻の標本が原因で、大麻取締法違反となることから個人的に大麻研究者免許を取られたことです。収集における法の順守の大切さと厳しい法律による利益尊重の重要性を学びました。

取材 荒巻 瞭 (アクアバイオ学科三年)
桑畑由衣 (生物生産学科三年)



取材 荒巻 瞭 (アクアバイオ学科三年)
桑畑由衣 (生物生産学科三年)

農学系司書として

本学に現在の教職・学術情報課程の前身である学芸員課程が設置されたのは、昭和五十七年、当時総合研究所におられた故吉村典夫先生のご尽力によるものです。私がこの道に進んだのは吉村先生に「小形君、私の研究室に来なさい。」と誘っていただいたことがきっかけでした。その後設置された司書課程も受講していくうちに、農学系の司書になりたいという「想い」が自分のなかで強くなっていたのを覚えています。

卒業後は希望通り母校の図書館に勤務することになり、早速教わったことを実践しようと意気込んでいたのですが、大学図書館の業務はレベ

ルも高く、想像以上に厳しいものでした。最初は満足に仕事ができず、自らの失敗で先輩方に迷惑をかけたときには、余りの情けなさに一人悔し涙にくれたことを思い出します。それでも多くの良き先輩に恵まれて、目録作成や利用者対応、参考調査など図書館員として多くの事を学ぶことができました。
現在は、農学部の図書館とネットワーク環境の維持と発展のために七転八倒する日々です。農大らしい個性的な蔵書構成や、学生の皆さんが積極的に学べるアクティブラーニング環境の構築を目指しています。
今進めている仕事
が、十年先、百年先の農大に影響を与えるかと思うと、緊張しつつもワクワクしながら仕事をしています。



小形 浩道 Hiromichi OGATA

1962年東京都生まれ
東京農業大学農学部農学科卒業
農学部厚木キャンパス学術情報センター事務室長



半田 宏伸 Hironobu HANDA

1992年埼玉県生まれ
東京農業大学農学部農学科卒業
埼玉県立自然の博物館・学芸員

鳥類などの資料を扱う機会も多くあります。昆虫以外の資料に関しては、今まで学ぶ機会が少なかったのですが、新鮮で楽しい部分もありますが、経験不足でなかなか思うように事が運ばず、勉強の毎日です。
自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉三億年の旅そして自然と人の共生」をテーマに、資料を収集、整理、保管し、調査研究を行い、展示等の教育普及活動につなげています。当館では、年間企画展示を三回、講座等のイベントを二十回ほど行っています。私は展示やイベントを担当するたびに、収集された資料や情報を使って、如何に一般の方々へ自然の魅力を伝えていけるかを考え、悪戦苦闘しています。身近に自然を感じる機会が減りつつある現代だからこそ、自然史系の総合博物館の学芸員として、幅広く自然科学の魅力について発信していきたいと考えています。

自然の博物館でのお仕事

私の勤務する埼玉県立自然の博物館は、県内唯一の自然史系総合博物館として、主に埼玉県に関する自然資料を扱っています。大きく分けて地質、動物、植物の三つの分野に分かれており、学芸員はいずれかの分野を担当し業務を行っています。
私は動物分野の担当をしています。専門は昆虫、特にハチの仲間ですが、業務の中では、哺乳類や